

吉崎いずみ通信 vol.10



渋谷区議会議員 吉崎いずみ
2025年第3回定例会号
——渋谷区議会区政報告——



発行:渋谷区議会公明党 東京都渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内

吉崎いずみが第3回定例会の代表質問に立ちました！

**水道道路沿道に給水ステーション配備へ！
初台地区公共施設整備に地域の要望を！**

第3回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和7年9月18日(趣意)

整理を進め、4月からの確実な実施に向けて準備を進めてまいります。

安心の教育現場について

質問 昨今、教育現場における教員の不適切な行為が社会的に大きく取り上げられております。

こうした一部の事例によって、子どもたちの健やかな成長のために尽力されている多くの教員への信頼が損なわれることがあってはならないと考えます。

児童生徒の安心を確保するとともに、教員自身も安心して職務に専念し、働き続けられる環境を整えるため、どのような取り組みを進めていますか。

答弁 (教育長) 区立小中学校では、文部科学省の通知に基づき、密室状態の回避、教室やトイレなどの定期及び不定期の点検、SNSなどによる私的接触の禁止、個人のスマートフォンなどでの撮影禁止などの未然防止策を講じています。

防災

災害時の給水計画について

質問 災害時の具体的な給水体制および区民に対しての飲料水の確保状況、給水車等での地域や避難所への飲料水供給の区の具体的な計画をお伺いします。

答弁 (区長) 上下水道については、都が配管の耐震化を進めており、本区の避難所全てにおいて整備が完了しています。そのため、区内で断水が発生した場合でも多くの避難所では通水がされるため給水が可能となります。

また、避難所には3日分の飲料水の備蓄を行っており、以降は、都によるプッシュ型の飲料水提供がされる計画となっており、在宅避難をしている区民にも飲料水の提供を行うこととなります。加えて、都と連携し区内に3カ所の「災害時給水ステーション」を設置しており、区民の方が直接現地に取りに来ていただくことで、飲料水が提供できる体制を整えております。

給水ステーション整備について

質問 本町地区防災都市づくりグランドデザインのなかで、水道道路については、広域避難場所に至る幹線道路としての役割を踏まえ、沿道建物と連携しながら避難路や一時的な避難場所として

機能させる検討を進めていると伺っております。

さらに、本町エリア内の水道道路沿道のオープンスペースや開発と合わせて災害時給水ステーションの整備を検討していることも承知しております。

そこで、給水ステーションの整備については、本町エリアのみの検討に限らず、水道道路沿道のまちづくり範囲を拡大し検討してはいかがでしょうか。

答弁 (区長) 給水ステーションの整備は「防災力を向上させ、安心して暮らせるまち」の実現にも寄与するものと考えています。

そのため、議員ご提案のとおり、設置検討範囲を本町エリアに限定するのではなく、水道道路沿道での整備についても検討してまいりたいと思います。

福祉

高齢者住まい支援について

質問 わが会派は、入居者自身の安心とともに、家主や管理事業者が単身高齢者などに安心して住宅を貸すことができる制度の創設を提案し、継続して要望を行ってまいりました。現在、見守りサービスの推進により、入居者やご家族にとって心強い仕組みとなっていることを高く評価しております。

さらに住宅政策課においては、

一人で不動産店へ相談することが難しい方を中心に、状況や住み替え先の希望条件を伺ったうえで、全協力店に一斉照会を行い、間接的な物件紹介を実施していただいております。

しかしながら、「渋谷区高齢者等民間賃貸住宅入居支援事業」の協会会員名簿を確認すると、37件にとどまっており、協力事業者の拡充が必要ではないかと考えます。また、高齢者の方々がこの窓口サービスを確実に利用できるよう、地域包括支援センターや出張所などを通じたチラシ配布等、手元に届きやすい形での周知も重要と考えます。

答弁（区長）議員ご指摘のとおり協力会員の拡充が必要と考えており、今年度は、新たに他の不動産団体に対し、協力会員を求め名簿への追加を依頼しています。

また、より分かりやすいチラシの作成や高齢者の方々の手元に届きやすい周知方法について検討します。

加齢性難聴者への支援について

質問 わが会派がこれまで要望してまいりました補聴器の助成・拡充を実施いただき、大変感謝しております。

しかし一方で、実際の生活においては、補聴器を外して過ごされる時間も少なくありません。その際には、来客や宅配便の訪問に気づけず、不安を感じるという声が

寄せられております。

そこで、光で知らせるインターホンライトを加齢性難聴者支援の一つとして位置づけ、対象用具への追加を検討していただきたいと考えます。

答弁（区長）議員ご提案のインターホンライトの対象用具への追加については、アンケート調査などを通じて、実生活での課題や具体的なニーズの把握を進め必要な対応を検討してまいります。

健康

子宮体がん健診について

質問 50歳を超えると子宮体がんの罹患リスクが高まることが知られております。

子宮頸がん検診の結果や問診内容を踏まえ、医師が必要と判断した方に対して子宮体がん検診につなげていく制度を導入し、その際の費用助成についても検討いただけないでしょうか。

答弁（区長）議員ご指摘の通り、子宮体がんの早期発見は重要です。

子宮頸がん検診実施時に、必要な方について、がん検診の指針に基づき、保険診療の中で多様な検査が適切に行われるよう協力医療機関に働きかけてまいります。

がん患者遺族へのケアについて

質問 近年、遺族ケア外来を設けたり、がんで家族を亡くされた遺

族の方への心のケアの相談を受け付ける取組が広がっています。

本区におかれましても、がん患者を亡くされたご家族が相談できる窓口を、保健所や区内のがん相談支援センターなど既存の仕組みの中で確認し、その内容をホームページ上に具体的に掲載していただきたいと考えます。

答弁（区長）議員ご指摘のとおり、がんでご家族を亡くされたご遺族の相談窓口は、現時点では区内に設けられておりません。

まちづくり

初台地区公共施設整備について

質問 新施設については、「地域がつながるコミュニティ拠点」とのコンセプトのもと、多目的室やフリースペースを設け、多世代が利用しやすい施設を目指しているのと伺っております。

一方で、完成までの数年間は仮施設を利用することとなり、これまでとは異なる環境で地域活動や子どもたちの居場所が営まれることとなります。

仮施設の建設にあたり、既存の施設で行われてきた活動が継続

できるよう、どのような工夫が盛り込まれているのか伺います。

答弁（区長）仮設施設については、キッチンや防音などの設備に加え、利用人数により部屋の大きさを可変できるように、可動間仕切りを設置し、必要な機能とスペースを確保するよう考えています。

既存施設での活動が今後も継続できるよう詳細は設計段階において検討を深めます。

子どもの居場所確保について

質問 仮施設の建設に伴い、児童公園が一時的に利用できなくなることから、子どもたちの遊び場や居場所の環境が変わることとなります。

こうした状況に対応するため、代替となる遊び場の確保やその周知に加え、仮施設内においても子どもたちが安心して過ごせるスペースを設けるなど、子どもの居場所づくりについてどのような取り組みされるのか伺います。

答弁（区長）仮設設置期間中の子供の居場所としては、整備後の玉川上水旧水路緑道や近隣の児童遊園地をご案内します。

また、仮設施設の運用面の工夫により、子供たちが屋内利用できる時間を設けるなど、子供の居場所を継続して確保できるよう取り組んでいきます。



——もっと元気に！区政に生活者の視点を——
みなさまの声をお聞かせください！

よしざき

渋谷区議会議員

吉崎 いずみ

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962



twitter

